

鶴ヶ島市立南 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針 ①	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を作成するに当たり、保護者や地域の実態・ニーズを踏まえて設定している。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員、地域の肯定的な回答は100%、保護者も昨年度より向上している。学校教育目標や経営方針を学校だより、シラバス、ホームページで公開し、学校運営協議会でも協議の場を設けることで高い数値に繋がっていると考えられる。</p>
	生徒			<p>課題解決への方策</p> <p>引き続き、積極的な情報提供を進め、学校運営協議会の委員と共に協議する場を確保していきたい。</p>
	保護者	学校は、保護者のニーズをとらえて学校教育目標や教育方針を設定している。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>そもそも保護者・地域のニーズはなんだろうか。今後も情報収集に努め、保護者や地域のニーズを大切にして教育方針に反映してほしい。一方、今回の保護者の回答数の少なさ（232家庭中160弱）、親の無関心が気になる。</p>
	地域	学校は、地域の声を反映して学校教育目標や教育方針を設定している。		

鶴ヶ島市立南 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針 ②	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を、保護者や地域住民に広く周知している。	<p>57% 36% 7% 0%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員93%・生徒87%・保護者97%・地域90%と概ね理解を得ている。学校だより・南中学校ホームページ等で、保護者・地域の方々に学校の様子を積極的に配信している。学校教育目標や教育方針等も掲載し、積極的な情報提供をしている。また、校長、教職員から適宜講話をしていることも成果に繋がっている。</p>
	生徒	私は、学校教育目標を知っている。	<p>59% 28% 8% 5% 0%</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>ホームページ、メール配信等の活用場面が増えてきたが既読にならない家庭、紙の文書が保護者に届いていない家庭が一定数あり、粘り強い取組が必要である。</p>
	保護者	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<p>46% 51% 2% 1% 0%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>ホームページやメール配信などの整備は進んできている。また、学校だより等も、回覧で地域に回してもらっている。学校からの情報発信力はかなり高いが、ホームページの閲覧は高齢者には敷居が高い。回覧する学校だよりに、写真も掲載したほうがよいのではないか。一方、自治会に加入している世帯がここ10年で25000世帯から18000世帯にまで落ち込んでおり、学校だよりも周知しにくくなっている現状もある。今後も学校教育目標を広く知らせるために、あらゆるツールを使って工夫を続けて欲しい。</p>
	地域	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<p>80% 13% 7% 0%</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
教育課程・学習指導 ③	教職員	教職員は、わかりやすく工夫した授業を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果について の分析・課題</p> <p>教職員、生徒ともに肯定的な回答が90%を超えている。学校全体で「一人残らず学ぶ教室」を目指す学び合い学習を推進している成果である。生徒の5%が否定的な回答をしている。授業に困り感のある生徒に対してきめ細やかな対応が必要である。</p>
	生徒	先生方は、わかりやすく工夫した授業をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>生徒一人ひとりの学びの状況を見取ることができる教員の資質向上を、今後も学び合い学習の推進の中で研修を進めていく。ICT機器を文房具に1つとして活用できるように研修を進める。</p>
	保護者			<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>リモート環境が必須の時代となってきたおり、学校での、機器の取り扱い方、情報モラル教育は必須である。そのため、先生方も使いこなせないと授業にならず、ICT教育技術の習得が大変そうである。 生徒の数値を見れば、先生方の努力がうかがえる。リモート配信は、マスに対しても個別に対しても有効だと思うが、できればオンライン個別指導をやってもらって、学力の底上げをしてもらいたい。</p>
	地域			

鶴ヶ島市立南 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
教育課程・学習指導 ④	教職員	児童は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>43% 43% 14% 0%</p>	<p>肯定的な回答がすべて85%を超えている。ただし、否定的な回答が多い学級もあり、その要因を分析する必要がある。</p> <p>評価結果についての分析・課題</p>
	生徒	私は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>51% 38% 11% 0%</p>	<p>学力向上のためには、生徒一人ひとりの非認知能力の向上と学習集団の醸成が欠かせないことを県学力・学習状況調査の結果が示している。学習規律を徹底する学級指導等も確実に実行していくことが必要である。</p> <p>課題解決への方策</p>
	保護者	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>39% 56% 3% 2%</p>	<p>コロナ禍の影響で児童・生徒に元気がなくなってしまうことは心配であるが、今年度も大変落ち着いた雰囲気の中で学習している。</p> <p>保護者は「成績が上がらない」⇒自分の子供が「先生の話聞いていない」ととらえてしまうため、評価はきびしくなるのであろう。</p> <p>学校関係者評価委員会による評価</p>
	地域	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>60% 40% 0% 0%</p>	<p>「学び合い学習」を通しての、人とのつながりを大切にしたい。取組を進めていただきたい。</p>

鶴ヶ島市立南 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑤	教職員	教職員は、児童の問題行動等に対して、組織的に、毅然とした態度で対応している。	<p>64% 29% 7% 0% 0%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>おおむね組織的な対応ができていると考える。ただし、少数の否定的な回答を見逃してはならならず、その要因を分析する必要がある。</p>
	生徒	先生方は、いじめやトラブルなどの問題に対して、きちんと指導してくれる。	<p>74% 22% 2% 2% 0%</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>学年間での情報共有や各部会の活用、各案件に対応する職員の役割を明確にするなど、報告・連絡・相談の凡事を更に徹底していきたい。生徒が安心して通える学校づくりに努めていく。</p>
	保護者	教職員は、児童が学校の決まりや集団生活・社会生活でのルールやマナーなどが守れるよう指導している。	<p>51% 46% 3% 0% 0%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>9割の方が肯定的な回答で、おおかた保護者も安心して子供を登校させることができる状態である。但し、数パーセントでも、「そう思う」と回答した生徒がいることを踏まえると「そう思う」と回答した生徒への対応をすることは必須と考える。今後もQUの活用等を実施し、早期発見・早期解決に努める必要がある。また、インターネットを通じた誹謗中傷等の問題はよくニュース等で取り上げている。見えない場所での関わり等にも、注意深く目を向けて、対応をしていく必要がある。</p>
	地域			

鶴ヶ島市立南 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑥	教職員	児童は、学校の決まりを守り、学校生活を送っている。	<p>29% 64% 7% 0%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>おおむね決まりを守ろうと意識をして生活をしていると考える。生徒の考え方も尊重しつつ、生徒会主体で校則について考える機会があったので生徒も教職員も意識改革が図れた。</p>
	生徒	私は学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>68% 28% 3% 1%</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>生徒が正しく、決まりについての意義を理解できるよう、すべての教職員が共通理解を図って、生徒に対して日々指導と続けなければならない。時代に即した見直しと改善の内容の吟味と検討が大切である。</p>
	保護者	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>42% 56% 2% 0%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>地域の評価と生徒の評価がほぼ同じと読み取れる。学校と地域での姿はほぼ変わらないなど生徒の裏表ない様子が伺える。身だしなみ等、学校における校則には、生徒の大人と子供で時代のギャップがある。教員が求めるものが高い部分もある。本校では、生徒会主体で校則について考える機会があったので生徒も教職員も意識改革が図れ、柔軟な姿勢を示した分、生徒の学校のきまりに対することも受容的で、よく決まりを遵守していると考える。生徒の隔たりが出てきた場合は、教員と生徒との議論は必要と考える。</p>
	地域	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>73% 27% 0% 0%</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑦	教職員	児童は校内ですすんであいさつをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>生徒の回答と教職員・保護者・地域の回答に乖離がある項目である。ただし、教職員の「そう思う」の回答は昨年度より大きく向上している。(14→44%)</p>
	生徒	私は、すすんであいさつをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>義務教育の最終段階として、社会に出て通用するTPOに応じたあいさつができるよう、質にこだわって指導をしていきたい。</p>
	保護者	児童は、家族や近所の人にすすんであいさつをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>生徒本人・保護者・地域の場所等における意識の差は見られる。学校・自宅・地域の中では、挨拶の度合が異なっている様子である。第一に、家庭環境・親子の関わり・しつけが大きく関わっていると考える。特に、地域の中で、子供たちからのあいさつの返事が返ってこないことが多くなっていると感じる方も少なくない。ゲーム世代における人との関わり・社会の防犯体制等、気楽に話しかける風潮が少なくなってきた様子もある。地域の雰囲気・地域の方が模範となって挨拶のできる地域社会を築いていくことがよりよい社会を作る大切な要素となると考える。</p>
	地域	児童は、地域の人にすすんであいさつをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
全 ⑧	教職員	学校は、登下校時の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>生徒・教職員・地域は肯定的な回答が高いが、保護者の否定的な回答の割合が比較的高い。小学校に比べ、個々での登校となるため心配の表れと考えられる。</p>
	生徒	安全に、安心して登下校できる。		<p>課題解決への方策</p> <p>定期的な登下校指導を継続していく。生徒にとって、地域の見守り、住宅や人通りが多いことが安心感に繋がるようなので、地域との連携をしていく。</p>
	保護者	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>教職員の「そう思わない」回答が、21%となっているが、要因についてより深く検証していく必要がある。小学校の取組の中における集団下校・不審者対応・交通当番等と比較すると中学校では、保健授業や安全教室等で、生徒へ安全対策について学習させるが、生徒が自ら判断し、行動できる力を身に付けることに主が置かれている為、登下校を含め安全対策に関する取組の機会が少ない現状はある。必要に応じて講じていく必要はある。</p>
	地域	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。		

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑨	教職員	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>64% 29% 7% 0%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員と地域の評価では93%が肯定的にとらえており、概ね達成されていると考えられる。継続的に情報の発信の仕方について検討し、より地域に根差した学校づくりができるよう向上を図っていく。</p>
	生徒			<p>課題解決への方策</p> <p>ICTの活用はもちろんだが、地域の方々とのあいさつや、地域の行事にも積極的に参加し、直に触れ合い、情報交換できるような人間関係の構築を目指したい。</p>
	保護者	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>42% 51% 7% 0%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>学校だよりも、しっかりしたものが作られており、学校の様子がよくわかる。市民センターの利用者も、掲示してあるものをよく見ている。また、C4THを利用した保護者向けの配信は、確実に手元に届き、データとして残るので便利に感じている。PTAからの情報発信もC4THを活用し、以前より効率的に実施することが出来ている。</p>
	地域	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>73% 20% 7% 0%</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑩	教職員	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>本年度も引き続きコロナ禍での教育活動となった。それに伴い、保護者や地域の方がにご協力いただく場面が少なくなってしまった。しかし、3学年の総合的な学習の時間では国際交流として地域団体にご協力いただく場面を設けることができた。</p>
	生徒			<p>課題解決への方策</p> <p>コロナ禍でも学びを止めないという考えを軸に据え、オンラインでの講義や地域とも連携した活動も考えていきたい。地域団体と教員で活動のねらいを共通理解にし、授業準備をしていくことで、より有効的な活動になると考えられる。</p>
	保護者	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>コロナ禍で、参加する機会がないのと同時に、参加することへの不安（生徒に感染を広げてしまうようなことになったら）がある。翔南祭の体験学習は、コロナが収束したら、再開してほしい。講師が不足しているのであれば、市民センターの利用者をあたってはどうか。赤ちゃんふれあい体験や、幼稚園実習は命の教育として、今後も継続してほしい。違う年齢層とのかかわりを持つ機会は、大変重要であると考えます。南小中の地域の力は、素晴らしい。しかし、定年が伸びたため、地域に戻るのが以前より遅くなる傾向にある。</p>
	地域	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。		

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校環境⑪	教職員	学校は、清掃活動や 掲示教育に力を入れる など、組織的に環境美 化に努めている。		<p>評価結果 について の分析・ 課題</p> <p>一昨年の評価を活かし、昨年度は清掃の回数を増やした（清掃にない日をつくらない）が、教職員の肯定的な回答の割合が減少した。（100→78%）回数ではなく、内容を検討する必要がある。</p>
	生徒	私は学校をきれいに しようと心がけ、清掃 をしている。		<p>課題解決 への方策</p> <p>清掃の質を高める手立てとして、清掃の仕方の確認、清掃用具の充実、生徒委員会の活用等を行っていく。清掃の回数については、教職員の働き方改革と併せて総合的に考えていく必要がある。</p>
	保護者	学校は、清掃活動や 掲示教育に力を入れ、 環境美化に努めてい る。		<p>学校関係 者評価委 員会によ る評価</p> <p>先生方は、回数よりも、質、内容を考え、より効率的に行おうと感じているのではないかと感じる。保護者・地域としては学校はきれいだと思っている。南小の生徒の自主的な清掃は素晴らしい。学校をきれいしようという気持ちが根付いている。その子たちが中学生になるので、より質の高い清掃活動が期待される。清掃の質を高めるには、具体的な清掃の仕方を小学校と連携して、指導していく必要があると感じる。</p>
	地域	学校は、清掃活動や 掲示教育に力を入れ、 環境美化に努めてい る。		

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
働き方改革⑫	教職員	⑫学校は、働き方改革を進め、教科指導や教育相談等、直接児童に係る時間が増えるよう努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員の世代間の意識差が大きい。意識はあるが、実際の仕事量も多く、なかなか働き方改革が進まない現状である。特に中学校では、部活動の存在が大きい。</p>
	生徒		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>教職員が担っている職務を地域、保護者の方々に理解していただく努力が必要であると感じる。それを受け、学校運営協議会でも協議する場を設けていきたい。</p>
	保護者		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>先生方は大変だと感じている。さらに、職員数が減るという話には大変驚いた。子どもたちが帰ってからの仕事や、コロナ対策は負担が大きいと感じる。半数が働き方改革が進んでいないということは課題がある。教師である前に一家庭人であり、家庭との両立ができるような環境であってほしいと感じる。市費職員や業務をサポートする人が増えるとよいと思う。地域の力が行事だけでなく、日ごろからもっと活用されるとよい。</p>
	地域		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	